

# 大逆転

新シリーズ  
～福音となったイエス～

2026・4・5  
イースター礼拝

イエスが  
十字架で  
死んだのは

<実行者>

ローマ総督

ピラト

ローマ兵

<犯人>

祭司長

律法学者

ファリサイ派

長老たち

<裏切者>

イスカリオテ・ユダ

弟子たち

ペトロ

# イエスを殺した「犯人」

- イエスに「偽善者」と非難された（暴露された）
  - 「律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたたち偽善者は不幸だ。白く塗った墓に似ているからだ。外側は美しく見えるが、内側は死者の骨やあらゆる汚れで満ちている。」マタイ23:27
- イエスを殺そうと計画した
  - 「祭司長たちや律法学者たちはこれを聞いて、イエスをどのようにして殺そうかと謀った。」マルコ11:18

自分たちの偽善の指摘され、正しい方を殺そうとする**負の感情**（妬み・怒り・憎しみ）

# イエスを殺した「実行者」

- ピラトはイエスを十字架につけたくなかった
  - 「暴動と殺人のかどで投獄されていた」バラバを引き出して、イエスを釈放しようとした
- しかし結局イエスを十字架につけた
  - 「ピラトはバラバを釈放し、イエスを鞭打ってから、十字架につけるために引き渡した。」マタイ27:26
- ローマ兵はイエスを侮辱し鞭打った
  - 「異邦人は人の子を侮辱し、唾をかけ、鞭打ったうえに殺す。」

無罪を知りつつ十字架につけた**無責任**

# イエスを売った「裏切者」

- イエスに選ばれた「12使徒」の一人であったのに、金欲しさに師を売った
  - 「十二人の一人イスカリオテのユダは、イエスを引き渡そうとして、祭司長たちのところへ出かけて行った。彼らはそれを聞いて喜び、金を与える約束をした。」マルコ14:10
- イエスが捕らえられると逃げた弟子たち
  - 「このとき、弟子たちは皆、イエスを見捨てて逃げた。」26:56

わずかな金欲しさに師を裏切った**欲望**  
わが身可愛さに師をも見捨てる**弱さ**

# イエスを殺した「張本人」

- ピラトはイエスを死刑にしたくなかった
  - 「一方、ピラトが裁判の席に着いているときに、**妻から伝言**があった。『あの正しい人に関係しないでください。その人のことで、わたしは昨夜、夢で随分苦しめられました。』」マタイ27:19
- しかし群衆は「十字架につけろ」と叫び続けた
  - 「ピラトが、『では、メシアといわれているイエスの方は、どうしたらよいか』と言うと、皆は、『**十字架につけろ**』と言った。ピラトは、『いったいどんな悪事を働いたというのか』と言ったが、群衆はますます激しく、『**十字架につけろ**』と**叫び続けた**。』22-23

# イエスを殺した「張本人」

- ピラトはイエスを死刑にしたくなかった

祭司長たちに説得されたとはいえ、昨日までダビデ王の再来と崇めていたイエスを「十字架につけろ」と叫び続ける人間の罪深さ

かば、とつたたちよいか』と言った、言は、『十字架につけろ』と言った。ピラトは、『いったいどんな悪事を働いたというのか』と言ったが、群衆はますます激しく、『十字架につけろ』と叫び続けた。」22-23

イエスが  
十字架で  
死んだのは

**<負の感情>**

憎しみ・嫉妬・  
恐れ・怒りが  
殺意へ

**<無責任>**

無罪と知りながら  
死刑にする

**<欲望>**

わずかな金欲しさ  
に師をも売る

**<罪深さ>**

まわりに流されて  
罪なき人を殺す

# すべてを「帳消し」にした十字架

- 彼らはその責任を負わなければならなかった
  - 「(ピラトは言った)『この人の血について、わたしには責任がない。お前たちの問題だ。』民はこぞって答えた。『その血の責任は、我々と子孫にある。』」マタイ27:24, 25
- イエスは彼らの代わりにその責任を負った
  - 「そして、十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。」ペトロー2:24
- イエスは自分を殺した者たちの罪を赦した
  - イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」



終

消滅

死

絕望

無

始

誕生

復活

希望

永遠



「キリストが御父の栄光に  
よって死者の中から復活さ  
せられたように、わたした  
ちも新しい命に生きるため  
なのです。」ローマ6:4